

巴川水系流域治水プロジェクト【位置図】

静岡県

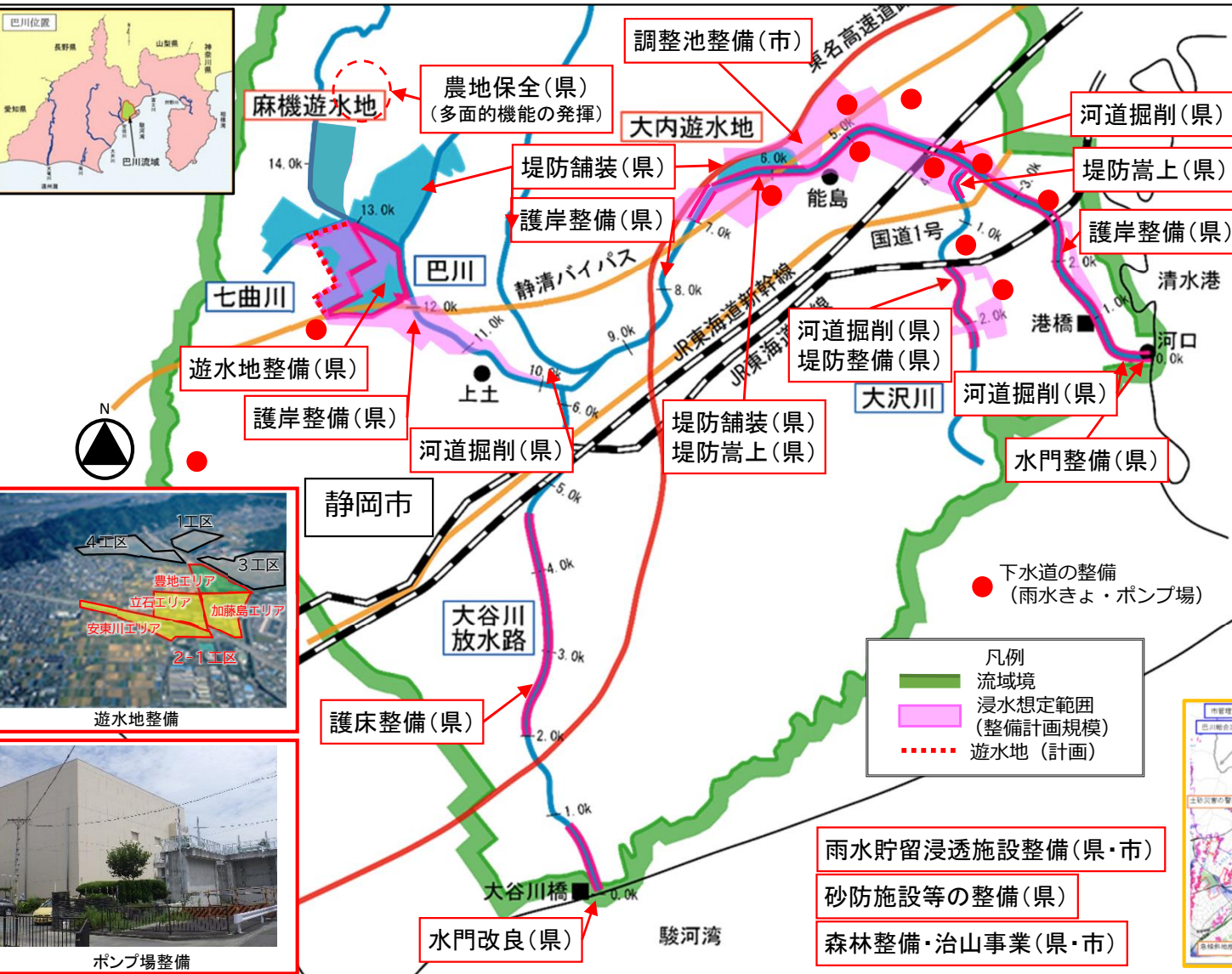
～活発に交流し価値を創り合う自立都市「静岡」を水害から守る流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、巴川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 県庁所在地の静岡市の低平地を流下する巴川流域は、市街化の進展や地形的特性などにより浸水被害の危険性が高い地区であり、七夕豪雨による甚大な被害を契機に、流域内の関係者が連携し、流域対策も含めた総合治水対策に取り組んできた。引き続き、河道掘削や遊水地整備、下水道（雨水きよ・ポンプ場）の整備等を進めるとともに、砂防堰堤や雨水貯留浸透施設等の整備、雨水浸透阻害行為に対する流出抑制指導や各種ハザードマップの周知・啓発等を行うなど、あらゆる関係者の協働による総合的な浸水対策を加速化する。
- これらの取組により、県管理区間においては、時間当たり 69 mm の降雨規模（年超過確率 1/10 規模の降雨）の洪水が発生しても安全に流すことに加え、平成26年10月洪水や令和4年9月洪水と同規模の洪水に対しても浸水被害の軽減を図る。

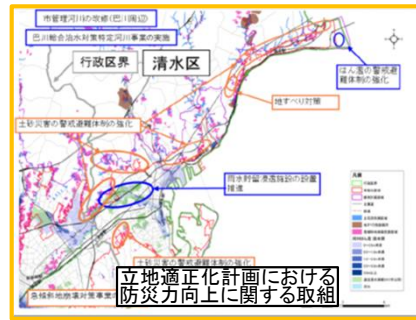
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・ 河道掘削、堤防整備、遊水地整備、堤防嵩上、水門整備
 - ・ 土石流対策施設の整備
 - ・ 下水道の整備（雨水きよ・ポンプ場）
 - ・ 雨水貯留浸透施設の整備（調整池・校庭貯留・公園貯留・透水性舗装等）
 - ・ 森林整備
 - ・ 農地の多面的機能の発揮による遊水地域の保全等

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・ 雨水浸透阻害行為に対する流出抑制指導
 - ・ コンパクトシティの推進（立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくり）
 - ・ 水害リスクマップの作成等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・ 防災体制の強化（タイムラインの運用・見直し等）
 - ・ 洪水浸水想定区域図の作成・公表、区域の指定
 - ・ 洪水・内水ハザードマップの周知・啓発
 - ・ 自主防災組織への支援による共助の強化
 - ・ 自助による減災行動につながる情報提供（防災・治水出前講座）
 - ・ 浸水センサーの設置による浸水状況把握等



- 雨水貯留浸透施設整備(県・市)
- 砂防施設等の整備(県)
- 森林整備・治山事業(県・市)



巴川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

静岡県

～活発に交流し価値を創り合う自立都市「静岡」を水害から守る流域治水対策～

- 巴川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【これまで】上流の麻機地区における床上浸水被害の解消のため遊水地の整備等を行い3エリア(加藤島・安東川・立石)の供用を行った。

加えて、被害軽減のために雨水きよ・排水ポンプ整備、雨水貯留浸透施設整備を行った。

【短期】麻機遊水地第2-1工区の完成を目指すとともに、清水地区の床上浸水被害軽減のために雨水きよ・排水ポンプ、雨水貯留浸透施設整備の推進とともに巴川本川掘削、堤防等嵩上を行う。災害リスクを考慮したまちづくりのため、立地適正化計画に記載する「防災指針」を検討する。

【中長期】下流の清水地区における床上浸水被害の軽減のため、巴川本川の水位低下を目的とした河道掘削等を行う。

あわせて、被害軽減のための取組をあらゆる関係者と一体となって推進する。

■事業規模

・河川対策

全体事業費 約590億円 ※1
対策内容 河道掘削、堤防整備、遊水地整備、水門整備 等

・下水対策

全体事業費 約350億円 ※2
対策内容 雨水きよ・ポンプ場の整備 等

・砂防対策

全体事業費 約2.5億円 ※3
対策内容 砂防堰堤整備

※1：巴川水系河川整備計画の残事業費を記載
※2：静岡市の下水道事業計画の残事業費を記載
※3：砂防事業の残事業費を記載

区分	対策内容	実施主体	工程		
			これまでの取組 (H27～R4)	短期 (R5～R9)	中長期 (R10以降)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	巴川本川の水位を下げる 麻機遊水地第2-1工区の整備	静岡県	3エリアの供用 → 4エリアの完成 遊水地整備		
	巴川本川及び支川の河道掘削、堤防天端舗装、堤防・護岸の嵩上げ	静岡県	調査・測量・設計	河道掘削等 堤防・護岸嵩上げ	
	浸水エリアの排水能力を上げる 下水道の整備（雨水きよ・ポンプ場）	静岡市	雨水きよ・排水ポンプ整備		
	河川への流出を抑制する 雨水貯留浸透施設の整備	静岡県・静岡市	雨水貯留浸透施設整備		
	土石流対策施設の整備（砂防堰堤整備）	静岡県	砂防堰堤整備		
	農地の多面的機能の発揮による遊水地域の保全	静岡市	農地の保全等		
被害対象を減少させるための対策	雨水浸透阻害行為に対する流出抑制指導	静岡市	立地適正化計画に基づく防災指針の作成		
	コンパクトシティの推進 (立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくり)	静岡市			
	水害リスクマップの作成	静岡県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災体制の強化 (タイムライン等の策定 等)	静岡県・静岡市	タイムラインの運用・見直し		
	洪水・内水ハザードマップの周知・啓発	静岡市			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。